

詳しくは、pavton.jp/topic へ

NO. 426

2017. 3 株式会社津田ペイブトンテック

強化板工法について、職人の声をヒアリングした。多くの職人は、5つの項目において高く評価した。「通し目地」「端部仕上げ」「曲線張り施工」「全天候型施工」および「品質保証」である。それぞれの項目ごとにシリーズとして記述することとした。初めて施工される職人に参考にしてもらいたためである。

今回はシリーズ2、「端部仕上げ」についてである。職人の仕事の「こだわり」は、縁石やマンホール周りのすりつけ部の仕上げを見れば分かる。端部仕上げは予想以上に難しい。職人に聞くと、強化板工法を用いると満足な端部仕上げが、割合と容易に仕上げられるとのことであった。その理由を聞く。ポイントは2点であった。「目地幅を一定に保つこと」「カットブロックの沈下が抑えること」が端部仕上げをきれいに仕上げるコツであると。このこと分かるかなといわれた。よく聞くと、強化板をカットした部品を目地キープ代わりに、要所要所に用いると目地幅が一定に保たれ、かつカットブロックの沈下も防ぐことができ、その結果、きれいで安心な端部仕上げができるということであった。

次回、職人の声 シリーズ3では、「曲線張り施工」を取り上げて記述する。

